

# 答申資料編

草津市廃棄物減量等推進審議会

## 目次

図表1	全国都市の有料化実施状況	1
図表2	全国都市の有料化実施都市の手数料体系	1
図表3	滋賀県内都市の単純方式有料化実施状況	1
図表4	草津市の人口推移	2
図表5	草津市のごみ排出量推移	2
図表6	国・草津市の1人1日当たりのごみ排出量推移	2
図表7	草津市の1人・1世帯当たりの家庭系ごみ種別排出量推移	3
図表8	草津市の1人当たりの年間ごみ処理費	4
図表9	ごみの収集回数の満足度	4
図表10	指定袋の無料配付枚数の配付満足度	5
図表11	ごみ減量化のために指定袋を小さくすることについて	5
図表12	ごみ減量化に効果がある施策	6
図表13	資源化の推進に係る協力度	6
図表14	ごみ種別指定袋の1月当たりの使用枚数(4人世帯)	7
図表15	家庭系普通ごみへの区分以外の混入状況(重量比)	8
図表16	家庭系不燃物・小型破碎ごみへの区分以外の混入状況(重量比)	8
図表17	家庭系普通ごみの組成分析調査結果(重量比と容積比)	9
図表18	平成20年度ごみ処理費	9
図表19	平成20年度ごみ処理原価	9
図表20	ごみ分別見直し後のごみ量推計	10
図表21	単純従量制実施後(ごみ分別見直し後)の収支状況見込み	10

図表1 全国都市の有料化実施状況（2009年7月現在）

有料化実施状況	
都市総数	806
有料化実施都市数	418
有料化実施率	51.9%

出典：山谷修作氏（東洋大学教授）のホームページ「全国都市の有料化実施状況（2009年7月現在）」

図表2 全国都市の有料化実施都市の手数料体系（2009年7月現在）

有料化実施都市の手数料体系		
単純方式	384	91.9%
超過量方式	34	8.1%
合計	418	100.0%

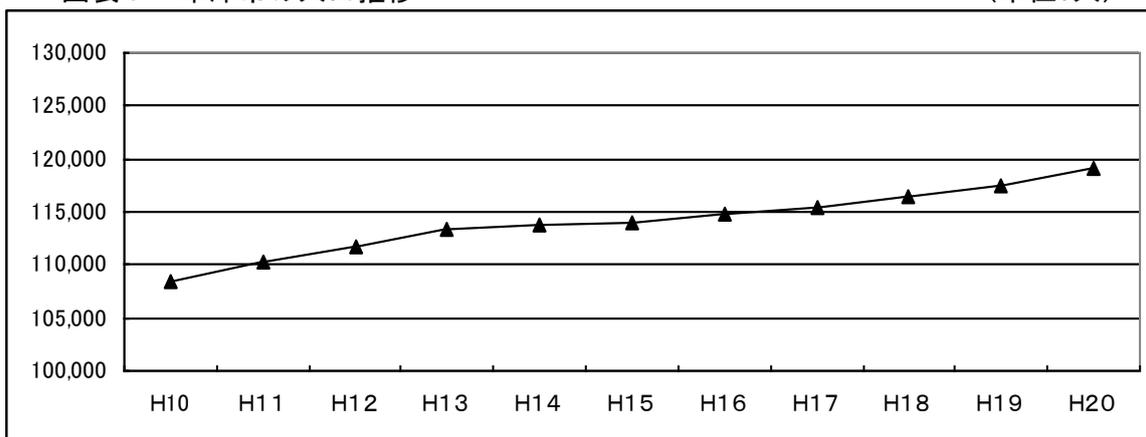
出典：山谷修作氏（東洋大学教授）のホームページ「全国都市の有料化実施状況（2009年7月現在）」

図表3 滋賀県内都市の単純方式有料化実施状況（2009年7月現在）

手数料体系	都市名	大袋価格（可燃ごみ）	大袋の容量
単純方式	長浜市	45円/枚	45ℓ/枚
	守山市	36円/枚	30ℓ/枚
	甲賀市	25円/枚	45ℓ/枚
	野洲市	25円/枚	35ℓ/枚
	湖南市	25円/枚	45ℓ/枚
	米原市	45円/枚	45ℓ/枚
超過量方式	草津市	110円/枚	40ℓ/枚
	栗東市	100円/枚	自由袋

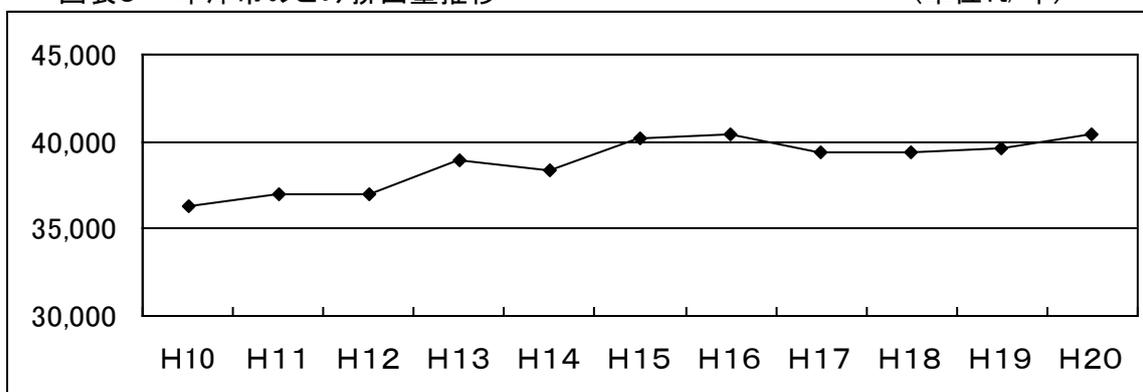
出典：山谷修作氏（東洋大学教授）のホームページ「全国都市の有料化実施状況（2009年7月現在）」に加筆

図表4 草津市の人口推移 (単位:人)



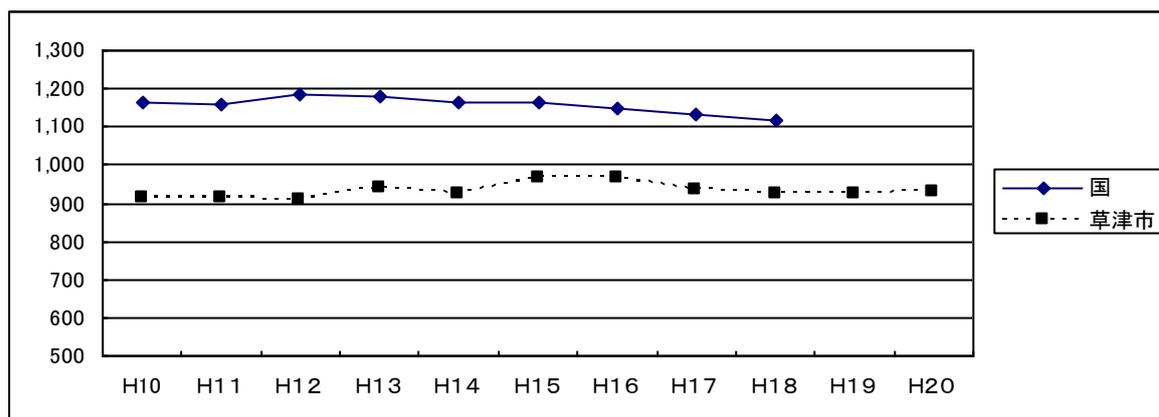
出典:草津市のごみ状況(平成20・21年度版)

図表5 草津市のごみ排出量推移 (単位:t/年)



出典:草津市のごみ状況(平成20・21年度版)

図表6 国・草津市の1人1日当たりのごみ排出量推移 (単位:g/人・日)



出典:草津市のごみ状況(平成20・21年度版)

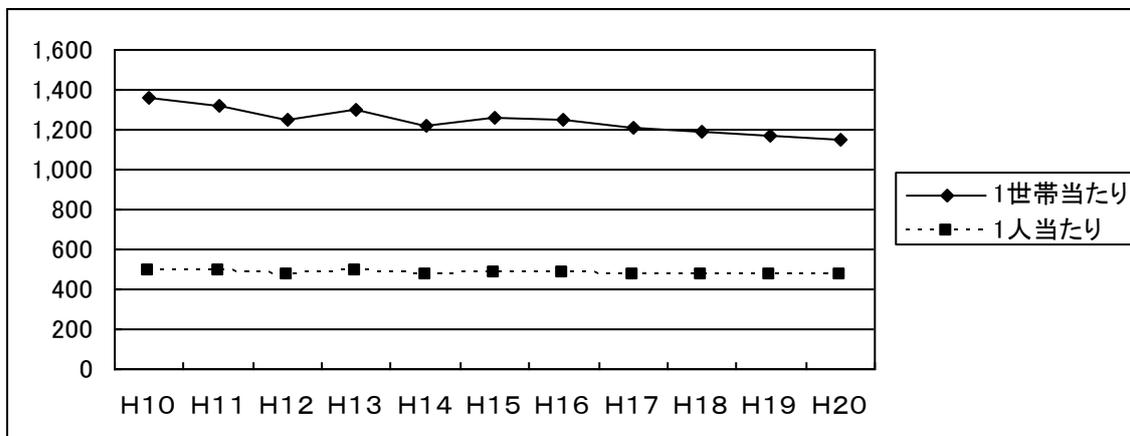
出典:環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課「日本の廃棄物処理」(各年度版)

※国の平成19・20年度の1人1日当たりのごみ排出量は未集計。

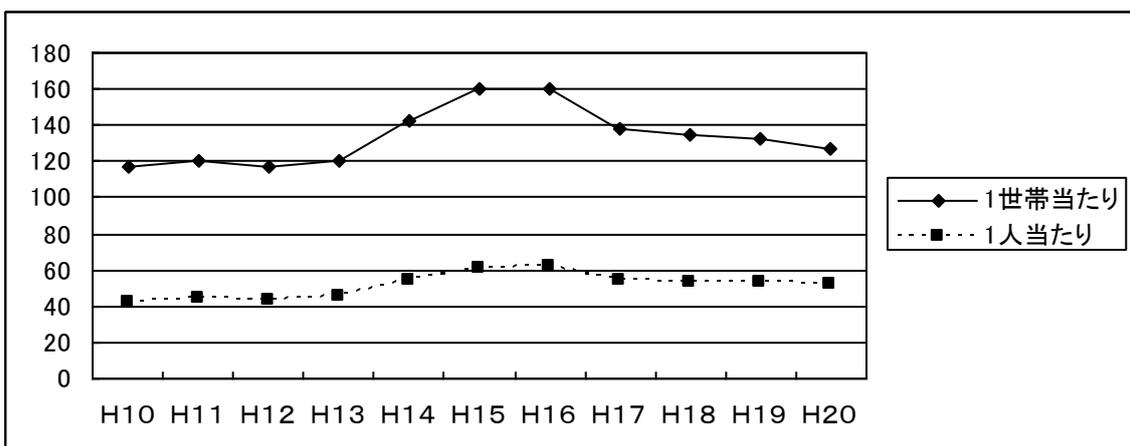
※国では、平成17年度より総排出量の定義を「計画収集量+直接搬入量+自家処理量」から「計画収集量+直接搬入量+集団回収量」に変更しています。

図表7 草津市の1人・1世帯当たりの家庭系ごみ種別排出量推移

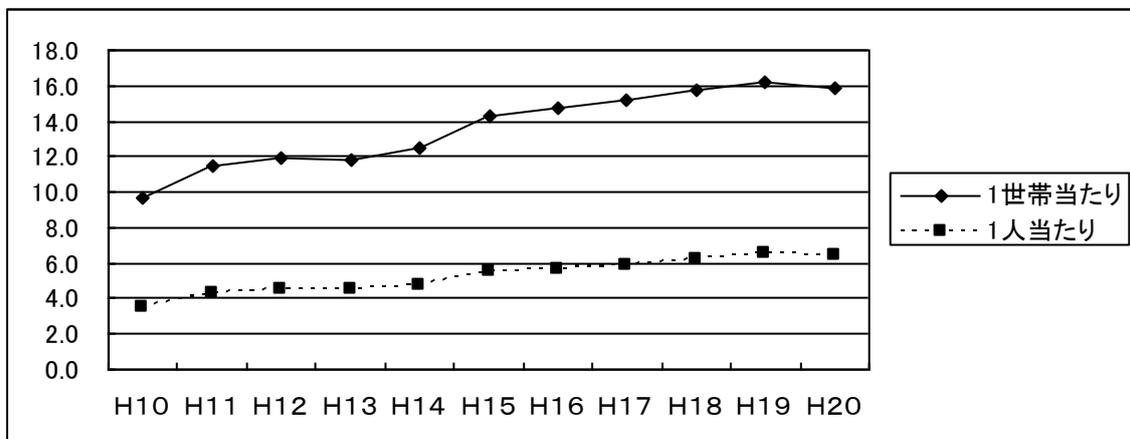
①普通ごみ (単位:g/日)



②プラスチックごみ (単位:g/日)



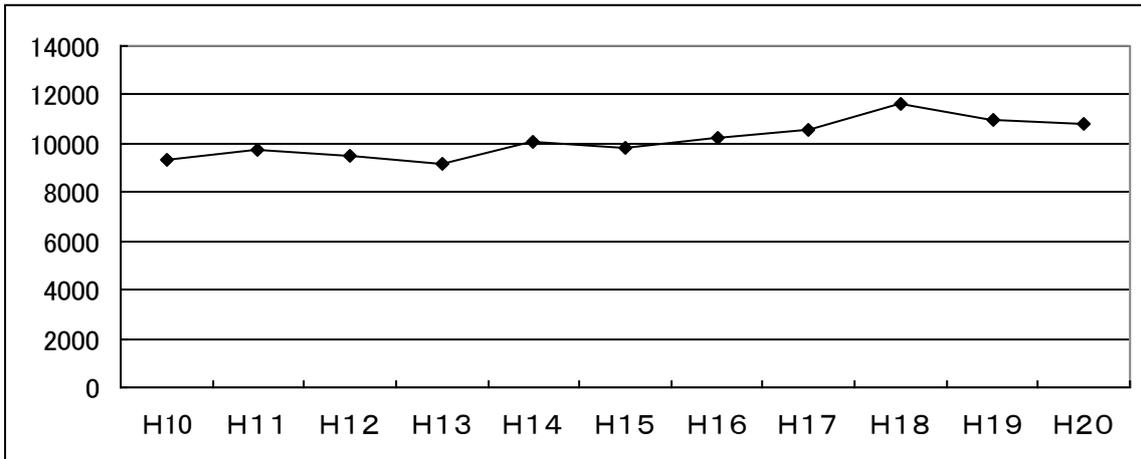
③ペットボトル (単位:g/日)



出典:草津市クリーンセンター年間報告書(平成20・21年度)

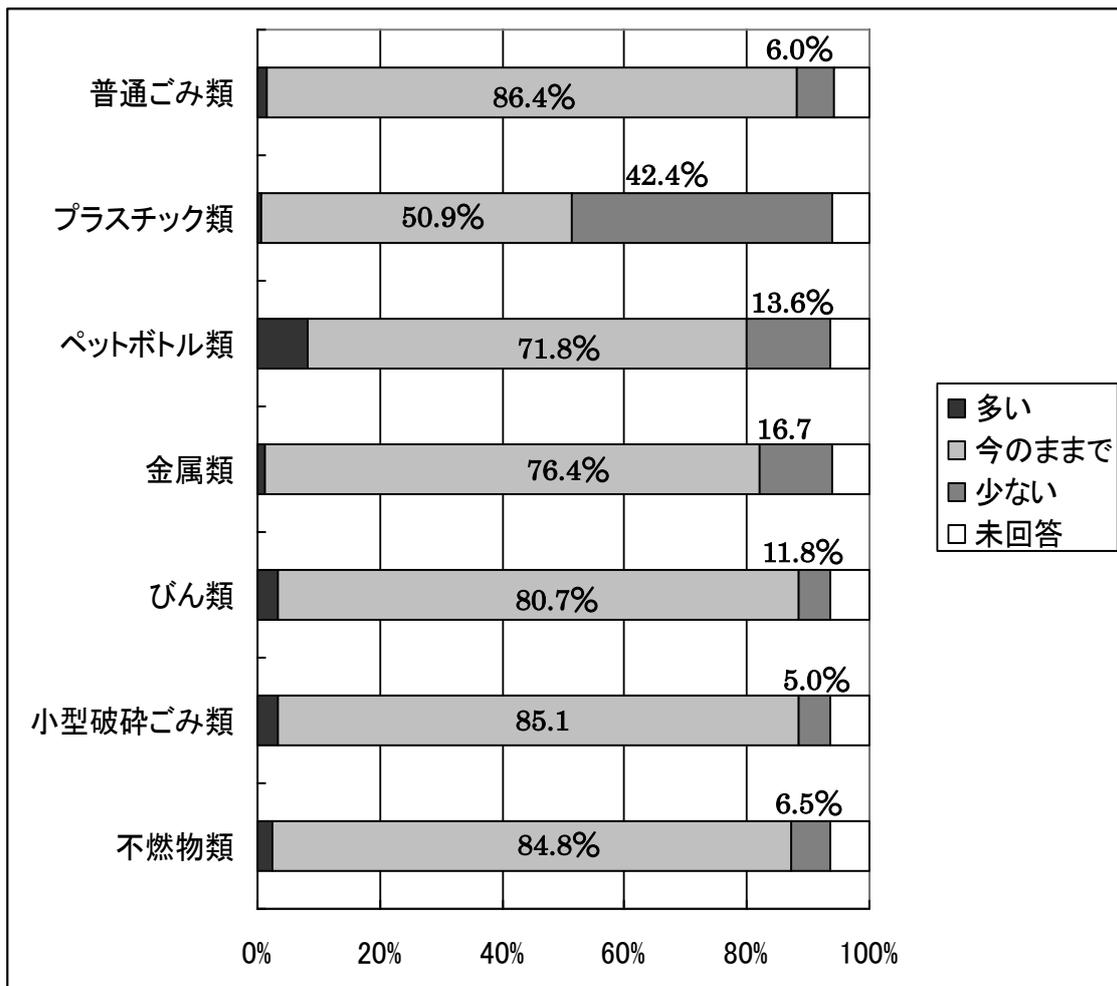
図表8 草津市の1人当たりの年間ごみ処理費推移

(単位:円/人・年)



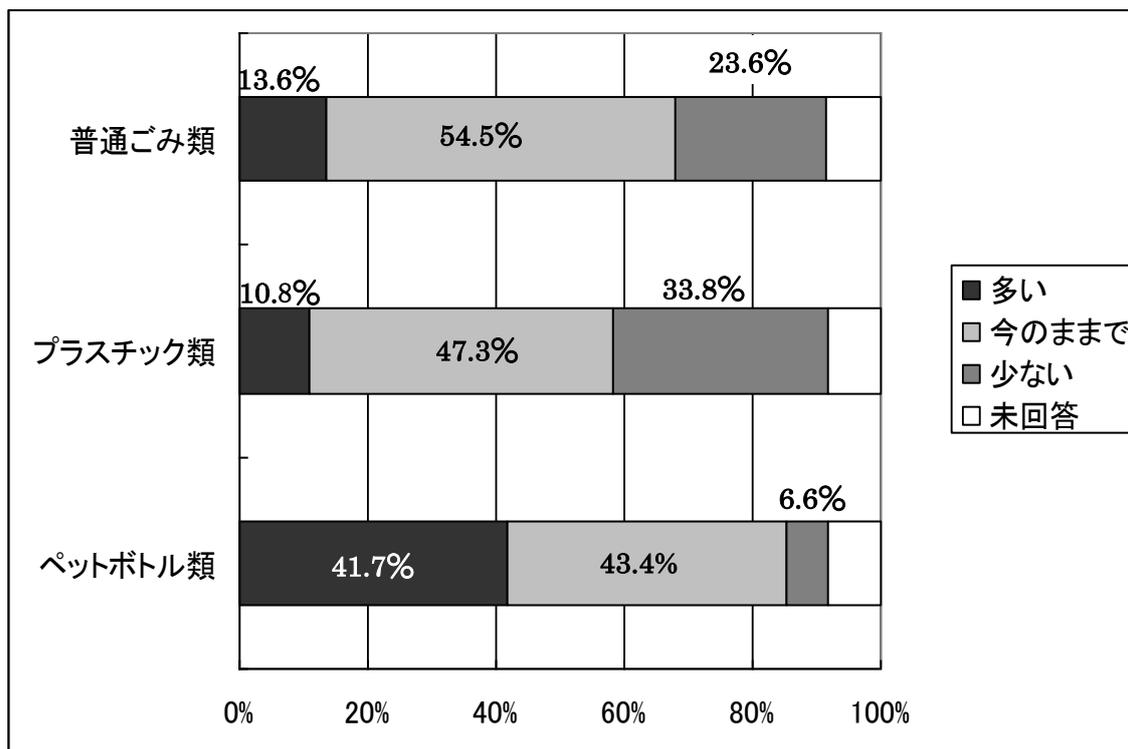
出典:草津市のごみ状況(平成20・21年度版)

図表9 ごみの収集回数の満足度



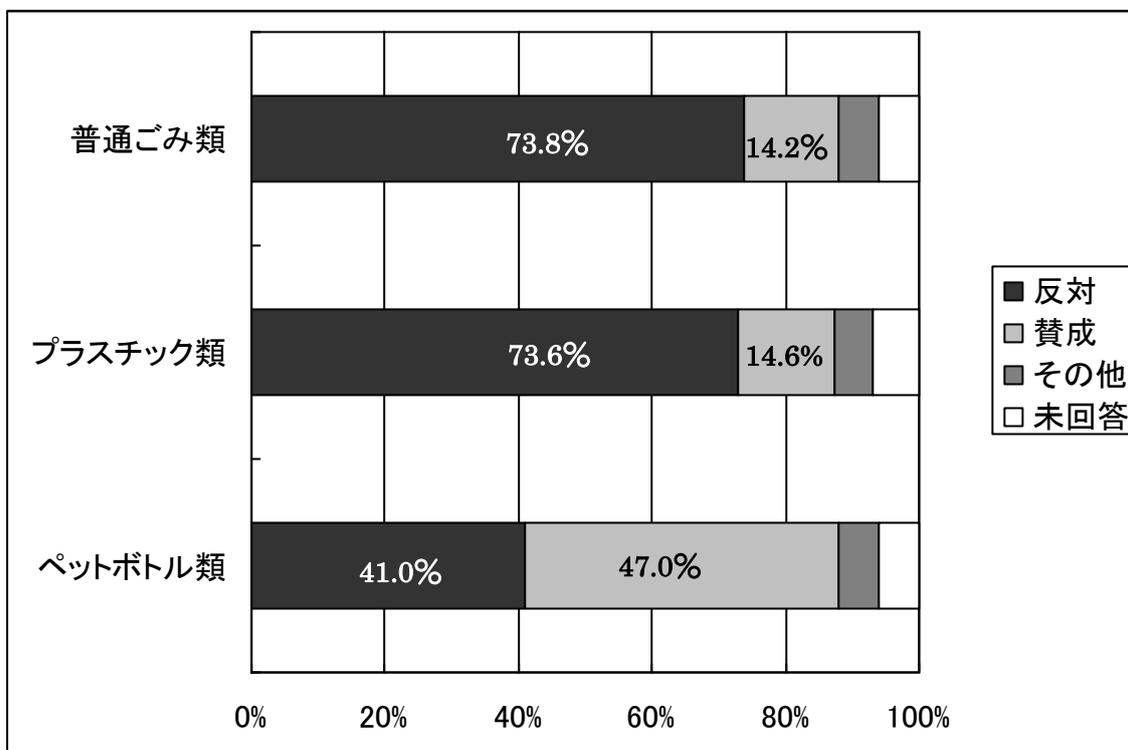
出典:草津市ごみの分別・資源化等に関するアンケート調査(平成18年10月実施)

図表10 指定袋の無料配布枚数の配布満足度



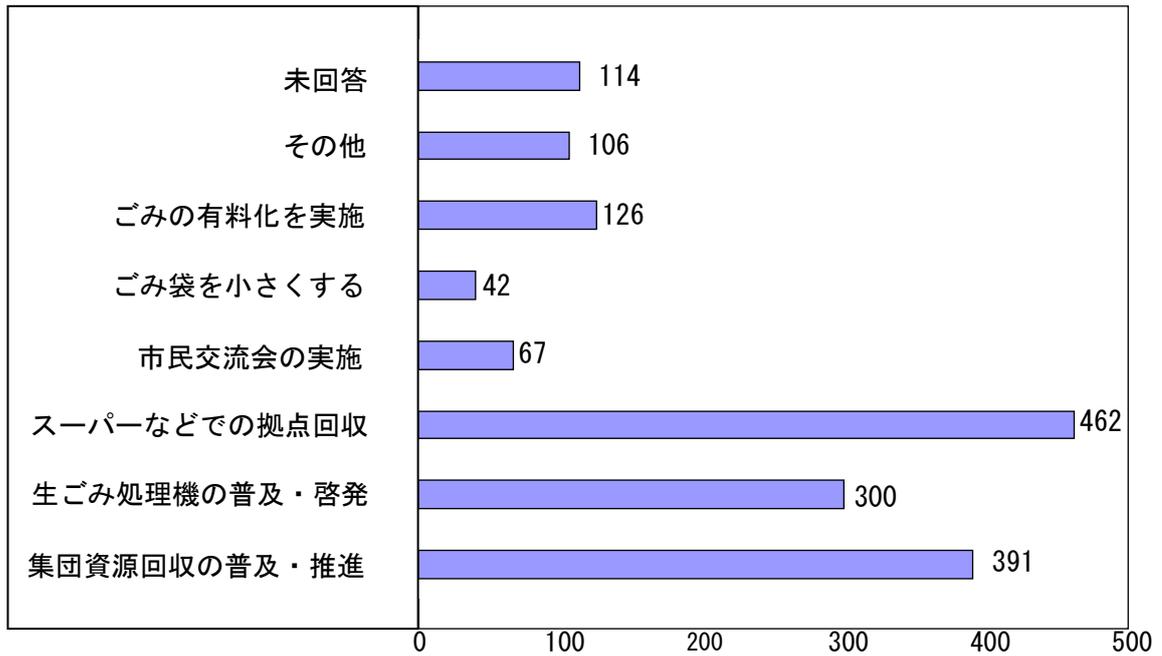
出典:草津市ごみの分別・資源化等に関するアンケート調査(平成18年10月実施)

図表11 ごみ減量化のために指定袋を小さくすることについて



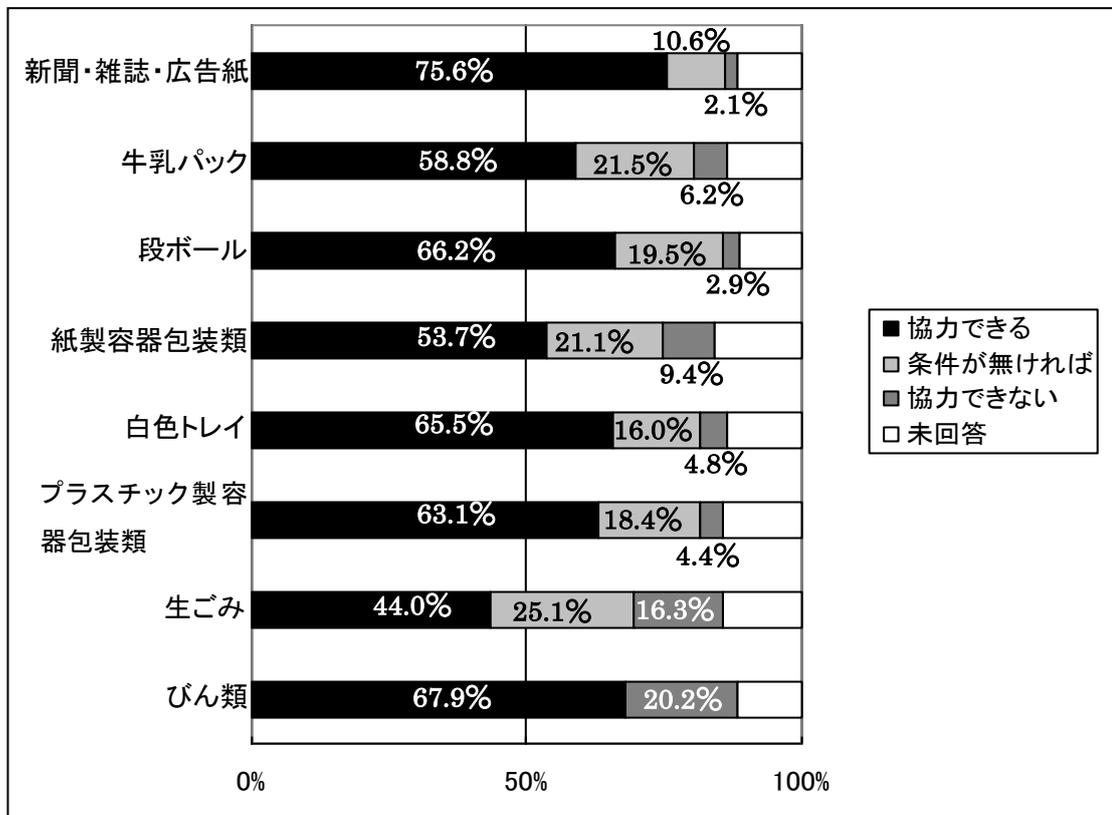
出典:草津市ごみの分別・資源化等に関するアンケート調査(平成18年10月実施)

図表 12 ごみ減量化に効果がある施策



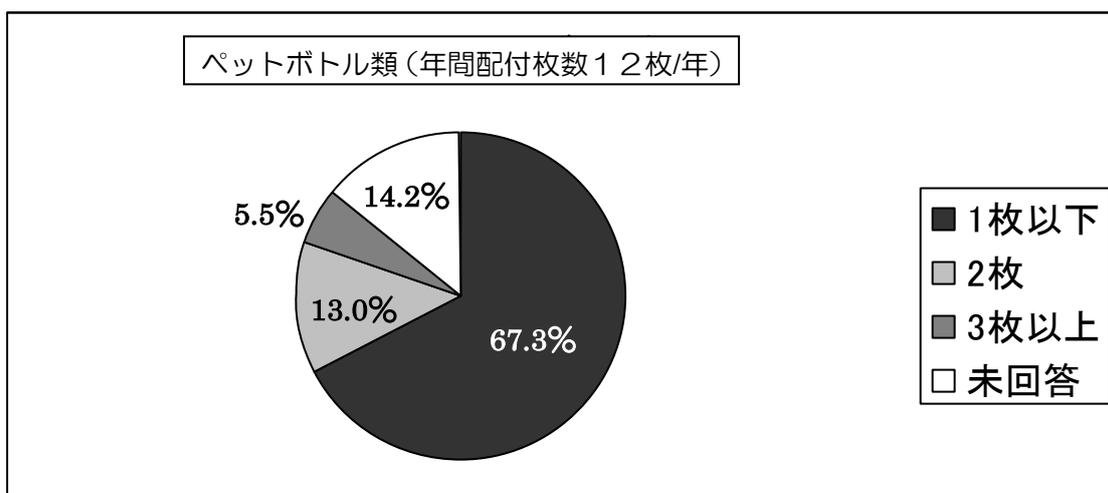
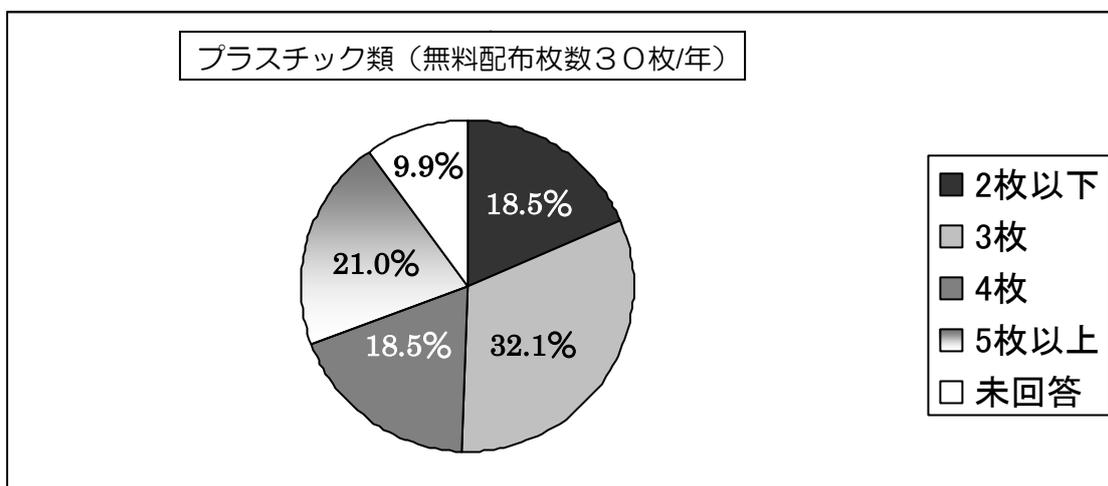
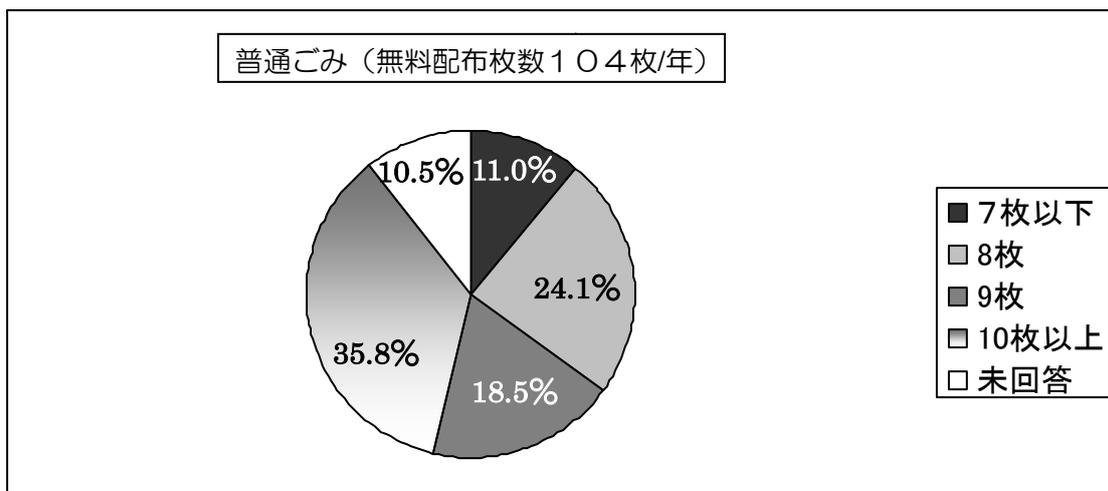
出典：草津市ごみの分別・資源化等に関するアンケート調査(平成 18 年 10 月実施)

図表 13 資源化の推進に係る協力度



出典：草津市ごみの分別・資源化等に関するアンケート調査(平成 18 年 10 月実施)

図表14 ごみ種別指定袋の1月当たりの使用枚数(4人世帯)



出典:草津市ごみの分別・資源化等に関するアンケート調査(平成18年10月実施)

図表15 家庭系普通ごみへの区分以外のごみの混入状況(重量比)

排出状況	本市全域	戸建住宅地	集合住宅地	大学周辺地
<b>他の分別区分排出分</b>	<b>8.06 %</b>	<b>4.80 %</b>	<b>8.12 %</b>	<b>12.94 %</b>
ペットボトル類	0.40 %	0.00 %	0.09 %	1.79 %
プラスチック類	6.17 %	4.21 %	6.04 %	9.53 %
レジ袋(リサイクル可能物)	0.80 %	0.16 %	1.21 %	0.78 %
トレイ	1.58 %	0.09 %	2.28 %	2.11 %
プラスチック製容器包装類	2.89 %	3.21 %	1.94 %	4.77 %
その他プラスチック類	0.90 %	0.75 %	0.61 %	1.87 %
金属類	0.46 %	0.12 %	0.20 %	1.62 %
びん類	0.07 %	0.00 %	0.14 %	0.00 %
不燃物類・小型破碎ごみ	0.96 %	0.47 %	1.64 %	0.00 %
乾電池・蛍光管	0.00 %	0.00 %	0.01 %	0.00 %
<b>適正排出分</b>	<b>91.94 %</b>	<b>95.20 %</b>	<b>91.88 %</b>	<b>87.06 %</b>
<b>集団回収対象物(資源化対象)</b>	<b>14.54 %</b>	<b>11.95 %</b>	<b>13.12 %</b>	<b>22.20 %</b>
新聞紙(リサイクル可能物)	1.64 %	1.72 %	1.51 %	1.84 %
広告紙(リサイクル可能物)	2.94 %	2.57 %	3.43 %	2.30 %
書類・雑誌類	4.23 %	2.20 %	2.83 %	10.93 %
ダンボール	1.44 %	1.75 %	1.28 %	1.38 %
布類(リサイクル可能物)	4.29 %	3.71 %	4.07 %	5.75 %
焼却対象ごみ	77.40 %	83.25 %	78.76 %	64.86 %

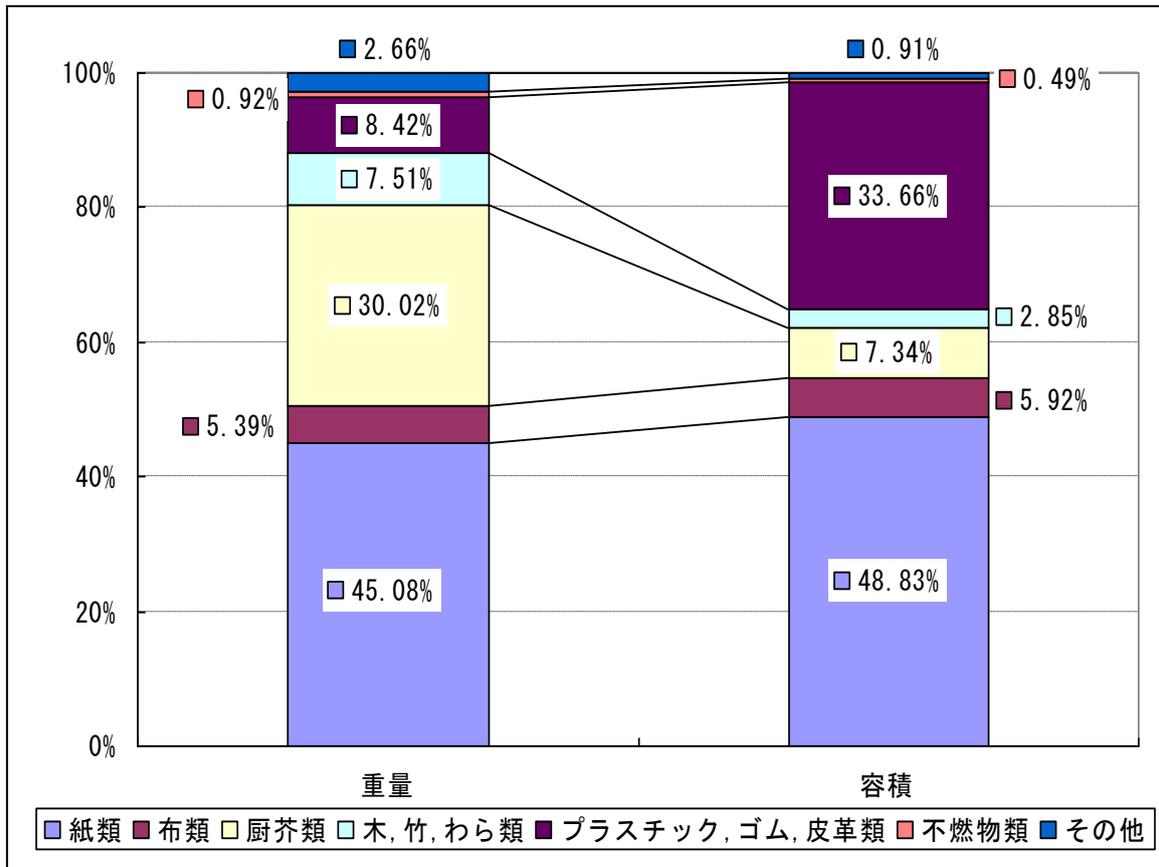
出典:草津市ごみ組成分析調査報告書(平成18年度実施)

図表16 家庭系不燃物類・小型破碎ごみへの区分以外のごみの混入状況(重量比)

排出状況	不燃物類	小型破碎ごみ
<b>他の分別区分排出分</b>	<b>24.83 %</b>	<b>36.19 %</b>
<b>普通ごみ</b>	<b>1.32 %</b>	<b>13.14 %</b>
<b>集団回収対象物(資源化対象)</b>	<b>1.01 %</b>	<b>4.16 %</b>
新聞紙(リサイクル可能物)	0.32 %	0.00 %
広告紙(リサイクル可能物)	0.00 %	0.00 %
書類・雑誌類	0.00 %	0.00 %
ダンボール	0.00 %	0.17 %
布類(リサイクル可能物)	0.69 %	3.99 %
焼却対象ごみ	0.31 %	8.98 %
ペットボトル類	0.19 %	0.00 %
プラスチック類	3.97 %	9.30 %
レジ袋(リサイクル可能物)	0.04 %	0.00 %
トレイ	0.00 %	0.00 %
プラスチック製容器包装類	1.52 %	1.13 %
その他プラスチック類	2.41 %	8.17 %
金属類	4.17 %	8.91 %
びん類	6.73 %	0.00 %
小型破碎ごみ	6.28 %	4.84 %
乾電池・蛍光管	2.17 %	0.00 %
<b>適正排出分</b>	<b>75.17 %</b>	<b>63.81 %</b>

出典:草津市ごみ組成分析調査報告書(平成18年度実施)

図表17 家庭系普通ごみの組成分析調査結果(重量比と容積比)



出典:草津市ごみ組成分析調査報告書(平成18年度実施)

図表18 平成20年度ごみ処理費(単位:千円/年)

項目	処理費
収集運搬費	419,277
処理費	415,061
施設維持管理費	388,556
その他	100,175
合計	1,323,069

※処理費は、人件費を含む(粗大ごみの処理費を除く)。

出典:草津市

図表19 平成20年度ごみ処理原価

処理量	40,078t/年
1kg 当たりの処理費	33円/kg
1袋当たりの処理費	148.5円/袋

※図表17の処理費から1kg当たり・1袋当たり(45l/袋)に換算。

図表20 ごみ分別見直し後のごみ量推計

現分類			新分類		
ごみ種		ごみ量(t/年)	ごみ種		ごみ量(t/年)
1	普通ごみ	34,994	1	焼却ごみ	33,708
			2	古紙	2,630
2	プラスチック	2,586	3	プラスチック容器包装	1,346
3	金属	458	4	空き缶	252
4	小型破碎ごみ	178	5	破碎ごみ	488
5	不燃物	694	6	陶器・ガラス	486
6	びん	864	7	飲食料用ガラス	864
7	ペットボトル	281	8	ペットボトル	281
8	蛍光管	12	9	蛍光管	12
9	乾電池	11	10	乾電池	11
合 計		40,078	合 計		40,078

※ごみ量の合計は、粗大ごみを除く。

※新分類ごみ量は、組成調査結果に基づき平成20年度ごみ量から推計。

出典:草津市

図表21 単純従量制実施後(ごみ分別見直し後)の収支状況見込み (単位:千円)

区 分		実施前	実施後
歳入	ごみ処理手数料(ごみ袋)	21,500	175,300
	その他	195,500	208,600
	一般財源	1,106,000	891,100
	合 計	1,323,000	1,275,000
歳出	収集運搬費	419,000	458,000
	処理費	415,000	328,000
	施設維持管理費	389,000	389,000
	その他	100,000	100,000
	合 計	1,323,000	1,275,000

※歳入・歳出は、平成20年度決算額で試算(粗大ごみを除く)

・単純従量制実施からの期間は、1年とする。

・単純従量制実施後のごみ量は、有料化対象ごみの10%減を見込む。

・歳入の「その他」に、ごみ処理手数料(ごみ袋を除く)、資源ごみ(古紙、金属類等)の売却費を含む。

・歳出の「収集運搬費」に、分別見直し実施後の古紙回収費を含む。

・歳出の「その他」に、分別見直しと単純従量制実施に伴う一時的な経費を含まない。

出典:草津市